

政策提言シート

氏名

金子 芳尚

印

現状認識と将来像

福島県の現在	
大震災・原発事故後の混乱の中、ようやく落ち着いてきた感じ。それでも浜・中・会津、七つの生活圈、59市町村、原発周辺、避難の方々などそれぞれの状況が違い様々な問題を抱えている。報道が原発事故処理、除染処理に片寄り全体として⊖イメージになっている。	
現県政に対する現状認識(現職の場合、任期中の成果と課題を含む)	
3/11後の未曾有の状況の中よくやってきた印象もある。それでもスピード感は足りず、県民の思いにしっかり耳を傾けた施策になっているとは言えない。調整力も弱い印象。現状を発信して必要な所に必要な対応をしてない地域もある。硬直化した組織の中で優秀な職員がその能力を十分に発揮していない。	
目指すべき将来像	
県民59市町村が主役主体であり、寄り添い応援団として民的発想とスピード感のある福島県。原発・除染・避難といった⊖のイメージを新たなチャレンジで⊕に変えていく。 将来に希望があり、若者が戻ってきて地元のために活躍する。困難を乗り越え、次世代に希望があり福島人でよかったと愛着と誇りを持つ福島県。	

重要政策(優先順位の高い順に3つ)

同
列

第1優先	遅すぎる福島復興の「加速」と新たな「チャレンジ」
第2優先	「59市町村」の生活を守る決意と「お役所仕事の一掃」
第3優先	「県民の自立」の実現と「ふくしま愛」応援

テーマ①:「産業政策」についての具体策(優先順位の高い順に3つ)

第1優先	内容: 地元企業の存続と将来への継承
	期限: 1~4年 数値目標:
	予算:
	財源:
	手段: 民が主体ですが、行政として情報・ノウハウを提供するなど寄り添う支援をする。福島ブランド企業としてアピールする支援(広く公平に)をする。

第2優先	内容: 企業本社を県内へ誘致・継続定着
	期限: 1～4年 数値目標:
	予算:
	財源:
	手段: 支店・工場でなく本社を福島で長期的に定着(10年以上)する場合の法人事業税減税や各種優遇制度の導入
第3優先	内容: 農林水産業の復活・成長
	期限: 1～4年 数値目標:
	予算:
	財源:
	手段: 徹底したチェック(広報)に基づく食の安全の実現と風評被害の根絶 成長戦略策定と⊕の福島ブランド発信への支援

テーマ②:「少子高齢化問題の取り組み」についての具体策(優先順位の高い順に3つ)

第1優先	内容: 仕事を持ちながら子育てできる環境づくり
	期限: 2年以内 数値目標:
	予算: 財源:
	手段: 保育士、看護師の増員政策、企業への子ども手当導入施策、子供減税の検討、高齢者が協力した託児所づくり
第2優先	内容: 結婚成立と安全安心出産の環境づくり
	期限: 2年以内 数値目標:
	予算: 財源:
	手段: 出会いの場(お見合い制度の復活)への支援、産婦人科医の全国からの招へい
第3優先	内容: 高齢者の積極的社会参加
	期限: 1～4年 数値目標:
	予算: 財源:
	手段: 子供達との交流、地域づくりに関わって頂くシステムづくり(図書館級の経験・知識を生かす)

上記の2つのテーマ以外の重要課題(優先順位の高い順に3つ)

第1優先	内容: 県庁所在地(中長期計画の立案)と組織の見直し
	期限: 2～4年 数値目標:
	予算: 財源:
	手段: 当面浜通り中部～北部の復興一段落までは現在のまま。県民投票の導入。市町村・県民のニーズに向けた機動性、対応力のある県庁組織
第2優先	内容: 首都機能移転推進の復活(福島だからこそ実現性がある！)
	期限: 1年～4年(方向づけ) 数値目標:
	予算: 財源:
	手段: 栃木県との連携、全国知事会への提言、知事会から国への働きかけ
第3優先	内容: 民的発想による福島発信
	期限: 1年 数値目標:
	予算: 財源:
	手段: 「福島ゴジラ空港」への改称、福島学生サミット 他